

2005年4月21日

報道関係者各位

子会社株式の譲渡に関する検討について

株式会社 ナムコ
社 長：石村 繁一
本 社：東京都大田区矢口 2-1-21
資 本 金：27,369,117,031円

エンターテインメント企業の株式会社ナムコ(本社:東京都大田区、代表取締役社長:石村繁一、以下ナムコ)は、株式会社USEN(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:宇野康秀、以下 USEN)と、当社子会社である日活株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:中村雅哉、以下 日活)の発行済み株式の過半数を同社に対し譲渡することについて検討を始めることを、本日合意いたしました。また本件に伴い、様々な面における協業の可能性についても検討を始めます。

記

【株式譲渡を検討する理由】

日活は1997年ナムコグループの一員となり、以後、興行事業、撮影所事業、パッケージメディア事業、衛星メディア事業を中心にナムコが制作するデジタルコンテンツとのシナジーを求めながら、映画・映像事業の中核として活動してまいりました。

このたびUSENより「デジタルコンテンツプラットフォーム」構想の一環として、日活の持つ多数の優れた映像コンテンツの活用について多種多様のご提案を受けました。我々もその趣旨に大いに賛同したところから、本件のイニシアチブを、必要インフラを兼ね備えたUSENにとっていただくことが日活の歴史的コンテンツ活用とさらなる発展にとって良策と判断し、発行済み株式の過半数譲渡の検討を開始することに合意いたしました。USENのブロードバンド事業、BB放送局事業など、日活のコンテンツ供給先の拡大は安定的な収益の向上が期待できます。

また本件を契機とし、ナムコが制作するデジタルコンテンツの活用政策であるワンコンテンツマルチユースを効果的に進めるにあたり、USENの持つFTTHによるブロードバンドインフラにたいへん大きな期待をしております。

今回の株式譲渡の検討は、ナムコが推し進めているエンターテインメントビジネスを核とした事業再編の一環であり、今後は今まで以上にコア事業に集中的に資源投下を図り、本業であるコンテンツ事業とロケーション事業の強化を進めてまいります。

本件につきましては、進展があった時点で、また改めて発表させていただきます。

以上